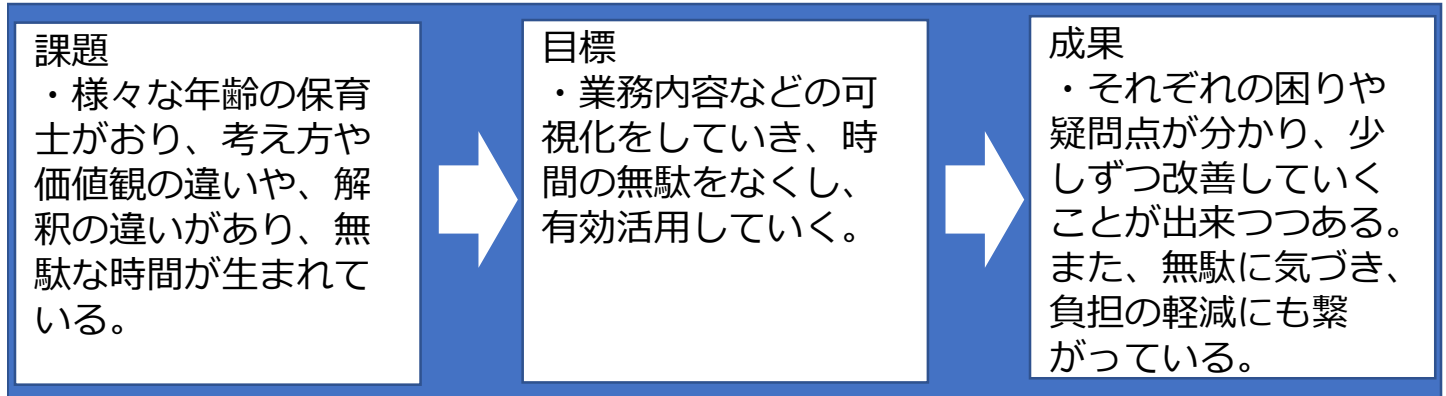


園名	宮田保育園
----	-------

事例分類	保育内容の検討と合わせた取り組み
------	------------------

■サマリー： **解釈の違いを合わせる、小さな改革が基礎を強化することにつながる**



課題の意図・詳細説明
<ul style="list-style-type: none"> ・伝えた側と受け取った側に解釈の違いがあり、何をどこまで行えば良いのかなど、情報共有が上手くいっていない様子があった。それによって、必要のない確認の時間や、一人ひとりへの負担が生まれていた。

目標の意図
<ul style="list-style-type: none"> ・相手が分かっている当たり前という固定観念を捨て、いつ誰が見てもやり方が分かり、理解できるようにしたい。

具体的な取り組み 12月

<ul style="list-style-type: none"> ・勤務別（早番や遅番）に困りや疑問点などないか、また、こういったときに負担や大変さを感じるのかをクラスごとに聞き取りをする。 ・クラスごとに出た内容を会議で話し合う。 その他で、他のクラスから見たときに感じたことも話し合う。
--

具体的な取り組み 1月

- ・主任、副主任で会議を行い、職員の困りを踏まえながら、省けるものと必要なものを考え、話し合う。
- ・会議で決まったことをリーダー会議で話し合い、他の職員からの意見も出してもらう。
- ・業務内容を決定し、可視化していく。

具体的な取り組み 2月

- ・実際に取り組んでみて、新たな困りや疑問点はなかったか、また、改善された点などの聞き取りを行う。
- ・業務内容の明確化は出来ているか、再び、複数の職員に確認する。
- ・新たに出た疑問点に対する答えを話し合い、改善に繋げる。